

巢で寄生生活することが知られているとかいておられる。1975,1985)。

飼育もそれ程たやすくはないのかも知れない。今後の観察結果によることとすると同時に県下での分布特に空白地帯をもっと探して見たものだと思っている。

(DEC.1987)

## 県関係文献紹介

- Kishii, T., 1987. A Taxonomic study of the Japanese Elateridae (Coleoptera), with the keys to the subfamilies, tribes and genera.

Biol. Lab. Heian High Sch., Kyoto (priv. pub.): 1-262, 1 tab. 12 pls.

本会会員岸井 尚氏はこの論文により京都府立大学より農学博士の学位を授与されました。長年コメツキムシの研究一筋に励めた結果当然と云えば当然ですが日頃の地味な研鑽の賜物と心より喜び申しあげます。おめでとうございます。

尚この論文中兵庫、淡路島と特に産地が示されている種(岸井博士以外の原記載産地で兵庫と云うのは除く)が10種あり兵庫県産甲虫類に関する文献としても重要です。

- 兵庫県自然保護協会宝塚支部機関紙

1987第2号(9p.).

本会会員新家 勝氏編集によるものである。奥谷博士、東先生、本会会員小田中 健氏等がそれぞれ健筆をふるっておられる。一般を対象にされたものであるが仲々楽しい内容になっている。

今後の発展を大いに期待したい。

(1987年11月刊)。

- 藤平 明、1987. 南淡の蛾 59p. (自刊)。

1979年に藤平 明氏は“南淡の蛾”と題し三原郡南淡町阿万上町での蛾相調査結果の42科 657種の蛾の目録を自刊された。その後も同地域の蛾の調査を続けておられ1987年11月再び30年間のまとめとして同じ題名の“南淡の蛾”を自刊された。今回はワープロできれいに印刷されていて44科810種がリストされている。この地域のファウナを知る上の大変貴重な文献となっている。ただ惜しむらくはコメントをもう少しつけて頂きたかった。この様な洗味な調査の結果を発表にな

られた同氏に改めて敬意を表したい。

- サイエンス兵庫・科学っ子Vol.2 (監修・姫路市立科学館館長・家永善久。企画・関西電力㈱ 姫路支店・発行部数 2,000) (1987年10月刊)。  
p.17-18 に“兵庫にすむ甲虫”を掲載してもらいました。同時に当兵庫昆虫同好会の紹介もして貰っています。
- 佐用ライオンズクラブ。千種川の生態(水生生物調査結)第15集(特集号)。31p.7 付図(1988年3月刊)。  
昭和62年9月5日並びにその前後に千種川61か所の地点で延人員 450人により採集された89種 8,300匹による千種川の調査結果をまとめられたもので県立昆虫館の内海功一館長が指導されている。この調査は継続事業とのことで今後も引きつづいて調査されると思うのであるが年によって採集出来る虫の種類も数も変わってくるようでありまた川の汚れなども変化があらわれるようである。前にも紹介させて頂いたと思うが筆者の所には第10集(1983), 第14集(1987)も送って頂いている。
- 神戸大学教養部田中眞吾教授編集。建設省六甲砂防工事事務所編集協力の「六甲山地のすべて」(仮題)が神戸新聞出版センターより本年5月出版の予定です(発行部数5~6000部)。この中で「六甲山地の昆虫」と題して愚報も発表して頂く予定です。機会があれば読んでやって下さい。
- 尚虫の会誌ではありませんが兵庫野鳥の会機関誌“鳥と自然”第47号(1987年12月)に小林桂助会長のお世話で“県下の水生昆虫——半翅目・甲虫目”(p.9-16)を発表して頂きました。別刷御希望の方があれば御連絡下さい。送らせて頂きます(送料のみ御負担下さい)。
- これまた昆虫に直接関係は無いようですが県保健環境部環境局環境管理課から年4回発行予定

自然とともに、の創刊号(10P.)が送られて来ています。どの様に頒布されるのかよくわかりませんが今後どんな発展をとげるか一寸わかりません。一応こんなものがあると云うことを報告しておきます。

(T)